

研究協力のお願い

昭和大学病院では、下記の臨床研究(学術研究)を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

腎移植早期の虚血再灌流傷害に関する臨床病理研究	
1. 研究の対象および研究対象期間	2015年1月から2025年3月までに、昭和大学病院腎移植センターにおいて腎移植術を受けた患者さん(レシピエントとドナー)のうちで、昭和大学病院臨床病理診断科において病理組織診断が行われた患者さん
2. 研究目的・方法	移植腎における虚血再灌流傷害は、移植早期の移植腎機能不全の原因の一つとして知られています。本研究では、移植腎の虚血再灌流傷害の組織所見と臨床所見の比較検討を行います。研究により、腎移植以外の急性腎障害全般の病態解明や早期診断バイオマーカー発見につながる可能性があります。
3. 研究期間	昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2026年3月31日まで
4. 研究に用いる試料・情報の種類	病理標本(病理組織ガラス標本、病理組織ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック等) 病理診断に付随する資料(病理検査申込書、病理検査報告書等) 電子カルテシステムに記載されている臨床情報(検査所見、バイタルサイン、治療内容、手術内容) (患者さまから新たな検体の採取をお願いすることはありません)
5. 外部への試料・情報の提供	該当いたしません
6. 研究組織	研究責任者 昭和大学医学部解剖学講座顕微解剖学部門 本田 一穂

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学医学部解剖学講座顕微解剖学部門

氏名：本田 一穂

住所：東京都品川区旗の台 1-5-8

電話番号：03-3784-8000(内 8103)